

特別活動（学級活動） 「人権福祉講演会」

相模原市立内郷中学校



活動目標

- 偏見や差別を許さない心と態度を持ち、命を大切にする生徒の育成をめざす。
- 実際に自分たちが障がいを体験し、障がいを持った方々の体験談を聞くことにより相手の気持ちを考え、その人にとって何が「やさしさ」なのかを考えて生活することの大切さに気づかせる。

（1）実施時期

平成 30 年 1 月 12 日（金）

（2）対象（学年等・人数）

本校全学年生徒 77 名
教職員 12 名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

神奈川県聴覚障害者協会の方 他 9 名



（4）実施内容

- ① 講演会：「障がってなんだろう？」（全学年を 2 つのグループに分ける）
 - ・ 障がいの特性の話や体験談を聞き、手話の意義、手話に関する基本的知識などを学び、障がいのある方への理解を深める。
- ② 手話体験
 - ・ 指文字による五十音の表し方
 - ・ 簡単なあいさつ、日常の言葉など

（5）成果

- 講演会を実施することにより、障がいのある方への理解を深めることができた。
- ただ手話を暗記するのではなく、障がいのある方とコミュニケーションがしっかりとれることが大切なことを学ぶことができた。
- 障がいのある方とコミュニケーションをとる勇気を備える学習とすることができた。

（6）その他

- 学校ホームページなどを活用し、活動の紹介を行った。
- 聴覚障がいのほかに、視覚障がいについても学習した。
- 保護者にも案内の通知を配付した。